

第43回地中海学会大会

日時：2019年6月8日（土）、9日（日）

場所：神戸大学百年記念館 六甲ホール

6月8日（土）

- ・開会宣言（13.00）
- ・挨拶 奥村弘（神戸大学大学院人文学研究科長）
- ・記念講演（13.15～14.15）
武谷なおみ（イタリア文学者、大阪芸術大学元教授）
「神戸で想う、ピランデッロのカオス・シチリア」
- ・地中海トーキング（14.30～16.30）
「港町：交流と創造」
登壇者：樋口大祐（神戸大学）、
宮下遼（大阪大学）、
河上眞理（京都造形芸術大学）、
佐藤昇（神戸大学）
司会：宮下規久朗（神戸大学）

- ・授賞式
- ・総会

6月9日（日）

- ・研究報告（10.00～12.00）
土居通正「青銅器時代終末期におけるキプロス島のエーゲ海地域との交流」
瀧本みわ「地中海を俯瞰するイメージ：
ハイドラ（チュニジア）の舗床モザイク《地中海の都市と島々》に描かれた神話地誌」
長谷川秀「1970-80年代コルシカ島における民族音楽『コルシカン・ポリフォニー』の成立と発展
ーコルシカ民族主義運動との関係」
- ・昼食／山口誓子記念館見学会（12.00～14.00）
- ・シンポジウム（14.00～17.00）
「文化遺産と今を生きる」
登壇者：奥村弘（神戸大学）、
深見奈緒子（カイロ研究連絡センター）、
松田陽（東京大学）、
山形治江（日本大学）
司会：末永航（美術評論家）



主催：地中海学会、神戸大学文学部（共催） 参加費：無料
連絡先：神戸大学文学部佐藤研究室（nsato@lit.kobe-u.ac.jp）